



▲社会人のための野球チームです

今年1年、お会いしたすべての方々への「感謝」に想いを馳せながら、新しい年を迎えようとしています。世界中が平和で穏やかな年でありたいように。

◆12月3日、いきいきセンターで「全播磨硬式野球団」創設20周年の記念式典が開催されました。このチームは平成8年に町内でスポーツ店を営んでいた故大村節二氏が、高校や大学を卒業しても野球がしたい、プロ野球を目指したいという選手たちのために創設した兵庫県で最初のクラブチームです。若くはつらつとした選手たちのユニフォームには播磨町の名前と町章がありました。今年、県の連盟から2人がベストナインに選ばれたとのこと。「目指すはドーム」を合言葉に、ぜひ頑張ってくださいと思います。応援しています。

◆12月8日、播磨町民生委員・児童委員と主任児童委員、協力委員の辞令交付式がありました。委嘱された皆さま3年間よろしくお願ひいたします。また、同日、任期満了で退任される方々への感謝状贈呈式がありました。長年のご尽力、ご協力に対し深く感謝申し上げます。ありがとうございます。来年は民生委員制度が創設されてから100周年でございます。社会環境の変化に伴い、福祉ニーズは年々増加し、複雑化している昨今、地域をよく知り、弱者に温かいお気持ちで手を差し伸べていただける民生委員さん、児童委員さん、協力委員さんたちのご活躍に期待しています。

◆12月4日「こころふれあう町民のつどい」で、書道家の武田双雲氏にご講演いただきました。日本文化の象徴ともいえる「書」を極められた方でありながら、とても気さくでさわやかなお人柄でした。さらなるご活躍を楽しみにしております。

播磨町長 清水ひろ子

第30回防災のつどい記念大会が開催されました

危機管理グループ ☎079(435)0991

加古川市、稲美町、播磨町の企業や地域住民が一体となり、多くの住民に防火防災への備えについて啓発することを目的に毎年「防災のつどい」が行なわれていますが、今年は30回記念大会として加古川市民会館で約1,000人が参加し盛大に開催されました。

大会では、防火・防災の普及啓発に貢献した播磨町連合婦人会、播磨町消防団女性分団に感謝状が贈られました。また、播磨町連合婦人会井上和子会長などが力強く「防災宣言」を行ないました。



▲連合婦人会



▲消防団女性分団

非常呼集を実施しました

危機管理グループ ☎079(435)0991

播磨町消防団は11月13日の午前中に非常呼集を実施しました。

これは、空気が乾燥して火災が発生しやすくなる季節を前に、消防団の訓練と住民への啓発を兼ねての訓練です。午前9時30分過ぎに、町の防災行政無線にて非常呼集がかかると、分団の消防車14台が續々と蓮池に到着し、合図に合わせて一斉放水を行いました。



▲消防車14台が一斉に放水

夜の学校で光の芸術祭

はりまデザインラボ ☎079(437)0141

11月19日県立東はりま特別支援学校で、「光のアートフェスタ」が開催され、約150人が来場されました。

当日は、播磨南高等学校の生徒が、熊本地震復興をテーマにした40mの巨大なキャンドルアートを制作。来場者の皆さんには、ペンライトアートなどを体験してもらいました。また、和太鼓とファイヤードンズのコラボや二胡、合唱、津軽三味線などの野外コンサートも行われました。



▲クマの形に並べたキャンドル

平成28年度播磨町技能職者表彰

住民グループ ☎079(435)2364

平成28年度播磨町技能職者表彰の表彰式が11月21日、町長室で行われました。受表彰者は次の方々です。



▲前列左から 清水町長、大西さん、岡本さん、藤原議長
後列左から 杉本さん、梶木さん、平賀さん、宮本さん

大西一義さん(北本荘) 電気設備工事業

昭和41年から電気工事一筋で、昭和45年に自営でオーニシ電気を開業され、(株)オーニシ電機を設立されました。昭和62年の電気工事法改正に伴い、第一種電気工事免状を取得されています。その豊富な経験と知識、高い技術は同業者や施主からも高く評価されています。支部青年部とも交流を持ち、技術者としてだけでなく、経営者としても若手の育成に努められています。

岡本直樹さん(二子) 自転車・オートバイ販売修理

自転車組立整備士及び自転車技士として自転車の修理技術を早くから身につけられました。二輪自動車整備士の資格を取得され事業拡大に努める一方、二輪車安全運転指導員として自転車やオートバイの普及に貢献すると共に、利用者の交通安全ルールやマナーの向上に努められています。永年培ってこられた修理の技術力と販売面での経営努力によって確固たる地元からの信用を築き上げておられます。

杉本光行さん(二子) クリーニング業

兵庫県クリーニング生活衛生同業組合明石支部に所属し、永年にわたりクリーニングの職業に従事し、兵庫県クリーニング明石支部の支部長、副支部長の任務を務めてこられました。優秀な技能を有し、クリーニング組合の活動において模範となると共に、若者への指導にも力を注いでこられました。

梶木新一さん(北古田) 大工

大工の基礎をみっちり学ばれた後、注文住宅でお客さんの声に耳を傾けながら大工の仕事に腕を磨いてこられました。現在も新築や大きなリフォームを請け負うなど地元からの信頼も厚いです。梶木氏は「お客さんはどこの工務店に頼んだらいいかわからない人がほとんど。そんな中で選んでもらっているので、精一杯がんばるだけ」と常にお客さん第一に考えておられます。

平賀勲美さん(東本荘) 理容業

昭和58年に理容師免許を、昭和61年に管理理容師免許を取得されました。その後、第40回(昭和62年)～42回(平成元年)の兵庫県理容競技大会二部レディースカットにおいて準優勝されています。神戸市理容競技大会A級3部フリーカットでは優勝されました。昭和58年～平成27年までの32年間、理容総合研究会で講師を務められ、現在は理容組合加古川支部2区区長を務められています。

宮本成也さん(古宮) 建築大工

昭和54年より父と、父の兄弟子にあたる西馬建築にて大工見習いとして、大工の技術と知識を学ばれ、昭和64年(平成元年)に独立され、37年間大工の仕事に携わってこられました。仕事内容につきましては、町内のお寺の改装工事、公民館別館の新築工事、屋台蔵の改装工事などを手掛けており、地域からの信頼も厚く、また、多岐にわたり仕事をされる姿勢は他の職人の模範となるものです。



永井 結ちゃん(上)
りょうすけ 亮輔くん(左) のぞみ 希ちゃん(右)
(野添城)

喧嘩もするけど、仲良し3人の笑顔が大好きです!!
これからも元気に大きくなってね♡(パパ&ママより)

楽屋裏
東京・青山霊園外人墓地に行きました。入り口には、石原元都知事が建てた顕彰碑があり、ここに埋葬されている方々のことを、「我が国の近代化に指導的役割を果たされた」と称える言葉が記されていました。
その日は、12月12日、ジョセフ・ヒコの命日でした。花を供えた「浄世夫彦」の墓前でジョセフ彦記念会の小柴俊雄会長ら、集まった10人が、手を合わせる墓前祭が行われました。
(宮)